

毎月23日は、
子どもといっしょに
読書の日

奄美図書館だより

平成25年2月1日発行
第260号(2月号)
鹿児島県立奄美図書館

〒894-0016 奄美市名瀬古町1-1 0997-52-0244

HP address: <http://www.library.pref.kagoshima.jp/amami/>

E-mail address: ama-lib@pref.kagoshima.lg.jp

奄美群島日本復帰記念講演会

12月25日は、奄美群島が約8年間の行政分離から、日本に復帰した記念日です。奄美図書館では、毎年この日に「奄美群島日本復帰記念講演会」を開催しています。

今年度の講演会は、平成24年12月25日(火)に、「奄美群島の日本復帰60周年に向けて」というテーマの下、奄美群島の日本復帰を伝える会事務局長の花井恒三氏を座長に、同会顧問の楠田豊春氏・大津幸夫氏、日本復帰運動を語り豊かな島づくりを考える会代表の崎田実芳氏の3氏から提言をいただくシンポジウム形式で行いました。

楠田豊春氏から「復帰の頃活躍した女性たち」、崎田実芳氏から「復帰協議会結成前の復帰運動」、大津幸夫氏から「全国の奄美会との連携」についての提言がなされ、沖縄から参加して下さった前泊美紀那覇市議会議員からは、「奄美は復帰運動の歴史の掘り起こしが進んでいる。これからも交流を続けながら勉強させてほしい。」というエールを送っていただきました。

今回の3氏からの提言や参加者から寄せられた意見等を踏まえ、「復帰60周年の節目の年、何を学び、何を後世に伝えていくか」、図書館としての取組を具体化していきたいと考えています。



ネリヤカナや創作童話が紙芝居に

第9回ネリヤカナや創作童話コンクール入賞作品を、小宿小学校児童クラブたんぼと山下洋子さん、奄美情報処理専門学校まんがクラブのみなさんが紙芝居にして、奄美図書館に寄贈してくださいました。「はあちゃんのぼうけん」、「花ちゃんの海」、「星の子ルカのぼうけん」、「月にいったクロウサギ」の4作品です。学校や親子読書会等の団体へ貸出をしていますので、読み聞かせにご利用ください。



南海日日新聞社の創始者

むら やま いえ くに

「村山 家國」

村山家國は、大正2年に大和村津名久に生まれました。旧制大島中学校に進んだ家國少年は、節約に徹した生活を送っており、今で考えれば普通のことに見えるのですが、「最近の生徒は贅沢だ。弁当は卵焼き、髭を剃るのに贅沢なカミソリを使う。靴は運動靴。贅沢」と、生徒会の意見発表で言い放ったそうです。

その家國は、大中3年の時に心に期すものがあり、黙って学校を飛び出し、東京巣鴨学園4年に編入しました。その後、日本大学の特別講座で法学を、早稲田大学で国文学を修め、詩歌の創作にも励みました。

そして、進んだ道が鹿児島新聞社への入社。以後の人生は、郷土・奄美の言論、文化の総帥として幅広く開花していきます。

昭和21年鹿児島日報、南日本新聞大島総局と名称を変え、「南海日日新聞社」は誕生しました。しかし、軍政下のこと、軍政府による事前検閲指令や、新聞用紙支給停止処分など苦難の連続でした。そんな中でも軍政府長官と対等の姿勢を貫き、いつも泰然としていたそうです。

村山家國は、奄美の戦中戦後、軍政下時代のことについて、新聞人として当時の記録を丁寧に調査し、昭和46年、遂に「奄美復帰史」を刊行しました。この著書は、奄美の復帰関係の通史としてはほとんど唯一のもので、復帰史についてのほとんどの研究書や論文は、この書籍を踏まえたものです。

平成24年度 鹿児島県立奄美図書館生涯学習講座

あまみならでは学舎 終了

平成24年度 鹿児島県立奄美図書館生涯学習講座「あまみならでは学舎」8回の講座全てが、平成25年1月19日(土)夢おりの郷の南祐和さんの「大島島...それは、奄美の全て」の講座をもって終了しました。

今年度の講座は、医療・郷土・気象・自然・文化・観光・教育・産業と幅広い分野で、今後の奄美の発展のためにも意義ある講座となりました。各講座の様子は、ビデオで収録しており、鹿児島県立奄美図書館で視聴することができます。

また、講座終了後に修了式を行い、6回以上受講された方27名に修了証書をお渡ししました。多くの方に受講していただき、感謝しています。

生きがいのある人生を築くとともに、潤いと活力のある地域社会の実現を図るために、平成25年度も多彩な内容を企画し、実施する予定です。楽しみにしていただきたいと思います。



2月の行事カレンダー



月	日	曜	行事・催し
2	2	土	むかしばなしの会 10:00~ 近代化産業遺産講演会 13:30~15:00
	4	月	休館
	6	水	おはなしの森 15:30~
	8	金	育児サークル「こっちむいて」10:00~
	12	火	休館
	13	水	おはなしの森 15:30~
	14	木	青嶺短歌会 13:00~17:00
	16	土	あまみ子どもライブラリー 10:00~ 読書会「島にて」 10:00~12:00
	18	月	休館
	20	水	おはなしの森 15:30~
	23	土	大島地区小学校国語教育研究会
	25	月	休館
	27	水	おはなしの森 15:30~

3月の休館日予告



4日(月)・11日(月)・18日(月)・
25日(月)・26日(火)

今月の新着図書コーナー

読書の風を
奄美から

児童

へびちゃんおしゃべりだいすき！
きむら ゆういち ポプラ社
きょうりゅうのたまごにいちゃん
あきやま ただし 鈴木出版
くろくまレストランのひみつ
小手鞠 るい 金の星社
目で見る生命
ロバート・ウィンストン さ・え・ら書房
ふしぎな深海魚図鑑
北村 雄一 汐文社
幸せを奏でる私の音楽
光丘 真理 佼成出版社
その他85冊

郷土関係

戦後沖縄と米軍基地
平良 好利 法政大学出版局
奄美シャーマンのライフストーリー
落合 美貴子 南方新社
その他21冊

おすすめの本

ぼにより ぼにより

内田 麟太郎 今人舎
東日本大震災の被災者の子どもたちを、本で励まそうという思いの作家たちによって生まれた童話集「希望がわく童話集 白いガーベラ」を絵本にしたものです。
「タヌキのおじさんが、ぼにより ぼによりあるいていると……。いがぐりがへこぼんへこぼんとあるいていきました。」と始まり、擬声語を用いた不思議な世界が描かれています。

また、落語家の林家木久扇さんの絵もユニークで、とても楽しい気持ちになれる本です。

一般

本屋さんで待ちあわせ
三浦 しをん 大和書房
子どもが変わる「育て言葉」
辰巳 渚 新学社
お食辞解
金田一 秀穂 清流出版
夢をかなえる。
澤 穂希 徳間書店
その他98冊

小説・随筆

七つの会議
池井戸 潤 日本経済新聞出版社
謎解きはディナーのあとで 3
東川 篤哉 小学館
母性
湊 かなえ 新潮社
北斗
石田 衣良 集英社
大人の流儀
伊集院 静 講談社
その他56冊

ヤル気の科学

イアン・エアーズ 文藝春秋
新しい年が始まり、今年の目標をたてた方もいらっしゃると思います。
経済学者である著者は、人が目標を達成できない理由として、生物は長期的な利益よりも短期的な誘惑に極端に弱いからであるとしています。この本は、系統的、実証的に裏付ける行動経済学や心理学の各種の成果から、自分の目標を実現するための現実的な手法を導きだせる内容となっています。
誰もが思い当たるような具体的事例がたくさん掲載されており、納得できる1冊です。